

憲法ゼミナール

准教授 岩切 大地

〈ゼミナールの目的・到達目標〉

このゼミは憲法の総合的な理解を図ることを目的とする。自ら疑問点を問題設定した上で、それについて調査を進め、その結果を叙述すること（卒業論文等）ができるようにすることが到達目標である。

〈ゼミの内容、進め方〉

ゼミ内容の予定としては、ゼミ1年目（ゼミナールⅠ）は基礎固めとして判例研究等を行う。2年目（ゼミナールⅡ）は具体的事例について研究を行う（なお、その成果は法案の形にまとめる）。3年目（ゼミナールⅢ、Ⅳ）は卒業論文を作成する。

以上をすべて学生からの報告に基づき、かつ参加学生全員との討論を通して進める。したがって当然のことながら、毎回の予習と定期的な報告準備は不可欠である。

〈ゼミの年間スケジュール〉

Ⅰ期ゼミ（15回）／夏季合宿（9月中旬ごろ）／Ⅱ期ゼミ（15回）／春季国会見学・模擬国会（3月前後ごろ）

※合宿・国会見学は、岡田順太ゼミ（白鷗大学）と合同で行う予定。

※上記以外の行事も含め、自由参加と設定された場合のほかは、ゼミ生にはすべてについて参加義務がある。

〈成績評価〉

ゼミへの参加態度によって評価するが（ゼミ内での発言の頻度、予習その他学修の程度、報告の準備具合、レポートの提出状況等。なお4年次は卒業論文を提出することが成績評価の前提条件である）、次のような事情がある場合には特に厳格に対処する。

- ・行事への無断欠席は厳しく対処する。
- ・特に通常のゼミについては、1度でも無断欠席をした者には単位認定を行わない。

〈求めるゼミ生像〉

- ・自ら学ぶ姿勢を持ってゼミその他の学修に望むこと。
- ・学修面のみならず、学生生活の全般（組織の運営、学ぶという行為への時間の使い方等）で吝嗇でないようにすること。
- ・ゼミに参加することは、通常の講義以上の負担を自ら負うことを意味するのであり、自動的に単位をゲットするためのものではない、ということを十分に理解していること。

〈選抜方法〉

書類選考をもって行う（面接を行う可能性もある）。別添の応募用紙のほか、レポートを提出すること。

レポートは、①A4用紙2枚を用い、②冒頭に学籍番号・氏名・作成日・宛名を記した上で、③憲法又は広く法律に関連するテーマを自由に設定し論ずること。なお、④参考文献（書籍、論文、インターネットサイト）を必ず明記すること。ワープロ使用か否か、文字数、フォントサイズなどは一切問わない。

採点基準は(i)上記①～④の形式を満たしているか否か、(ii)論ずる内容について十分な検討をしているか、の2点である。

〈募集人数〉

10名程度

〈教員からのお知らせ〉

連絡先：iwakiridaichi@hotmail.com